

郡上農林事務所の普及活動状況

令和元年 8 月 23 日現在

今月の重点活動

■ 水稲 **郡上産米の新たなPR戦略について検討**

郡上産米ブランド化研究会は、郡上産米のPR戦略としてロゴを活用した統一的なPRを計画しており、8月8日郡上総合庁舎で若手稲作農家によるワークショップと現地検討会を開催した。

当日は、ワークショップに参加してきた中心メンバーが、これまでの経過とPR戦略に対する思いについて説明するとともに、今回のロゴを製作したデザイナーによる、ロゴの活用方法等について提案があった。

農業普及課は、郡上産米のブランド化について栽培面での技術支援に加え、組織的な活動に対する支援を行っており、今後も関係機関と連携を図りつつ各種支援を続けてゆく。



【室内検討会の様子】

多様な担い手づくり

■ 労働力確保 **たかす園芸生産協議会戦略会議を開催**

8月8日、たかす園芸生産協議会の戦略会議が開催された。

当協議会では、平成31年3月の設立以来、農家の労働力確保に向け、募集活動や住居等の条件整備を進めているが、今のところ十分な成果が得られていない。

そこで、次年度に向けて募集活動方法の検討や、イベントへの出展計画、地域おこし協力隊制度を活用した農業支援員の受け入れ検討などを行った。

会議では、現状をふまえた上で、募集方法の新たなアイデアや、住居の整備などについて活発な意見交換がなされた。

農業普及課では、産地を支える労働力の確保に向け、今後も当協議会の活動を支援し続けていく。



【戦略会議の様子】

新たなブランドづくり

■ 郡上花き園芸組合 **夏期冷涼な気候を活かした商品づくりの支援活動**

農業普及課では、中山間地の冷涼な気候を活かしたゼラニウム「ホワイトトローズ」の秋作型での商品づくりの支援活動を行っている。

本品目は、岐阜花き流通センター農業協同組合の重点品目に位置づけられている。秋に出荷する作型は、高温時に葉が白くなる障害が発生し商品の価値がなくなるため、栽培している生産者が少ない。

また、栽培マニュアルがなく手探りで栽培を行っているため、共同出荷の商品として、均質化の課題がある。

農業普及課は、1カ月に3回の間隔で、草丈、葉数、芽数などの生育や肥料の養分吸収量を調査し、結果から課題と改善策について生産者に提案している。

今後も調査を継続し、秋作型の適した管理を明らかにして栽培マニュアルを作成し、地域に普及することとしている。



【生育調査を行う担当者】